

# チャイムのない学校

--五日市南中学校区内--



第62号平成24年10月19日  
広島市立五日市南中学校  
〒731-5135 佐伯区海老園 4-2-21  
TEL082-923-5601 FAX082-923-9828

## 校長室だより

3年生の成長は素晴らしかった。  
涙が出るくらいうれしかった。

～生徒会主催文化祭 10月4日佐伯区民文化センター  
10月5日前期修了式にて～

「こんにちは。昨日の生徒会主催文化祭をもって、前期の大きな行事は終了しました。本日、担任の先生から通知表を渡してもらい、しっかりと”振り返り”をしてください。

振り返りができる人は成長します。

その点、文化祭の一つ一つの発表を見ても、3年生の成長は、大きいものがあると思います。

合唱も、学年合唱も

各クラスの合唱も

素晴らしかったですね。

見ていて、聴いていて

涙が出るくらいうれしかったです。

2年生も、3年生の合唱や発表を

食い入るように、見ていましたね。

これから、2年生は一つ一つの行動に

責任を背負っていくことが、

2年生自身の成長につながると思います。

2年生の合唱において、学級の中で

みんなが動きにくい中、勇気を出して

頑張った指揮者がいました。

ほんとに難しい中、素晴らしいと思いました。ピアノ伴奏もパートリーダ

ーも、一人一人の歌も、背負っていた人がいました。

背負う人が、振り返りができ、反省ができるから成長ををしていくことができます。

1年生も、3年生・2年生と同じように、勉強し、努力し、振り返りを繰り返しながら、成長して行ってください。終わります。」



瀬戸の内海 朝もやはれて

海べに映す 母校の雄姿

遠坂の思い 胸に高鳴り

雄々しき我らの 力みなぎる

先月号に載せた内容を加筆しました。今度、記事として紹介されることでした。

題名「思わず動く」

この夏、日赤キッズクロスプロジェクト「サマーキャンプ 2012in クロスヴィレッジ」にスタッフとして参加する機会を得た。これは、昨年3月1日に被災した岩手県、宮城県、福島県の児童・生徒が参加した赤十字トレーニングセンターである。

このキャンプは、先見を行うことがルールであり、先見を通して次のような成長ができた。具体的には、小5の児童から中3の生徒が1つのグループになり、そのグループごとに若いスタッフから助言をもらう。そこで、プログラムや活動の先を見て動けるようになることや静かに自分や自分たちの行動を振り返ることができるようになることをねらう。結果として、このキャンプを通して5分前行動ができるようになった。そして、今回の被災に対して、100近い国や地域から助けられたことを勉強し、次は自分たちが助ける番だとプログラムを通して振り返ることができるようになった。

また、このキャンプは、小5の児童から中3の生徒に、人との出会いを企画することをねらいにした。

大人より心が少し開きにくかったり、

涙が多く出たりしたこの小中学生も、

キャンプが終わるときには、

泣き笑いが大きくできていた別れでした。

少し心が開け、

新しい出発ができていたらと願う。

人を救うものは、人である。

今回のキャンプは1人の被災した

赤十字のスタッフが思わず動いた行動から、

企業や学校や医療や地域のボランティアが

全国に広がり、実現することができた。

人というものは、

助けられたり、助けたり、

その繰り返しの中で成長をしていくものである。

私にとっても、思わず動いたこの夏でした。

振り返ってみると、私の心が少し広がり、

成長をさせてもらったと感じる。

